

2022年11月5日・6日

東京大学 法文2号館31番教室

ハイブリッド形式（zoomでの中継あり）

第64回比較法政シンポジウム 性的／ジェンダーマイノリティの 人権をめぐる日仏比較



企画

バンジャマン・モロン＝ピュエシュ

伊藤嘉恵

齋藤哲志

報告—日本語、フランス語

質疑—日本語、フランス語、英語

*日本語、フランス語には同時通訳付

参加をご希望の方は、10月31日（月）までに

下記登録フォームよりお申し込みください。
シンポジウム前日までにzoom参加に必要な
情報をお知らせします。

<https://forms.gle/hwqZ29NzTpbDKdUY6>

主催

東京大学フランス法研究会、東京大学大学院法学政治学研究科、同附属ビジネスロー・比較法政研究センター

共催

比較立法協会・日本セクション、科研費・国際共同研究強化(B)「国際的な子の保護と児童の権利条約——学際的な視点から」
(代表・西谷祐子)、科研費・基盤研究(C)「行政国家と行政立憲主義の法原理——行政法哲学の基盤構築」(代表・吉良貴
之)、東京大学先端ビジネスロー国際卓越大学院プログラム、日仏社会法ネットワーク (公益財団法人 末延財団)

後援

公益財団法人 社会科学国際交流江草基金

プログラム

2022年11月5日（土）

9:30 開場

9:45 開会の辞

山本隆司（東京大学・法学政治学研究科長）

ジュリアン・ブドン（比較立法協会・日本セクション代表、パリ＝サクレ大学）＊ビデオメッセージ

■ 10:00 歴史、社会、思想からのアプローチ

吉良貴之（愛知大学）

バンジャマン・モロン＝ピュエシュ（リヨン第2大学）

ラファエル・テリー（パリ＝パンテオン＝アサス大学）

ディミトリ・ヴァンオーヴェルベーク（東京大学）

& アンテ・ヘルウェーヤス（ルーヴェン＝カトリック大学・院）

12:00 休憩

■ 13:30 国際関係からのアプローチ：研究と実務の視点を交錯させて

ヴィクトリア・ベラミ（パリ＝パンテオン＝アサス大学・院）

サミュエル・フリールメール（ストラスブール大学）

本多広高（東京弁護士会）

西谷祐子（京都大学）

ミラ・ペトコヴァ（パリ弁護士会）

谷口洋幸（青山学院大学）

15:30 休憩

■ 15:45 身体（1）：裸体表現をめぐって

伊藤嘉恵（長野地裁上田支部）

レジス・シュラッデノーフェン（フランス社会科学高等研究院）

フランソワ＝グザヴィエ・ルー＝ドゥマール（西ブルターニュ大学）

16:45 休憩

■ 17:00 身体（2）：身体の変更をめぐって

カロリーヌ・ベイユ（パリ＝ナンテール大学・院）

ジミー・シャリュオー（パリ＝パンテオン＝アサス・CERSA）

18:00 第1日了

2022年11月6日（日）

9:30 開場

■ 9:45 アイデンティティ（1）：個人として

安部圭介（成蹊大学）

ジュリー・マテュシ（オート＝アルザス大学）

10:45 休憩

■ 11:00 アイデンティティ（2）：家族として

ユーグ・フルシロン（破毀院特任判事、リヨン第3大学）

大島梨沙（新潟大学）

■ 12:00 各論：成年後見の場合

ジル・ラウル＝コルメイユ（カン大学）

山城一真（早稲田大学）

13:00 休憩

■ 15:00 リソース（1）：家族財産法に照らして

ジュリアン・ボワソン（パリ＝ナンテール大学）

齋藤哲志（東京大学）

16:00 休憩

■ 16:15 リソース（2）：社会法に照らして

マリー・エリフ（日本学術振興会、東京大学）

笠木映里（東京大学、CNRS）

■ 17:00 総括報告

小沼イザベル（フランス国立東洋言語文化学院）

17:45 第2日了